

6年目に入るバラエティの司会

あおき むね たか
青木 崇高

レギュラー出演しているドキュメントバラエティ「セブンルール」(カンテレ)火曜後11・00)が4月で6年目を迎える。「ドキュメンタリーが好きということもあって、出演者と制作者という視点で映像を見ている。いい経験をさせてもらっています」と語る。

さまざまな分野で活躍する女性たちが自身に課す「七つのルール」。密着した映像を見ながらフリートークする。自分のルールは、「ちゃんと生きる」こと。具体的なルールではなく、「ちゃんとくらいの方がいい。調子に乗っている時はちゃんと地に足を着けて、気分が落ち込んでいる時は軌道修正する。そんな緩さがあった方がいい」と言う。

4月からNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に木曾義仲役で本格登場予定。義仲は天下人にまで上り詰めるが、鎌倉勢に敗れて31歳の生涯を終える。「歴史上では高い評価を受けた人物ではないが、名前も実績も残っている。



そういう人に魅力がないはずはない」と分析。「大河ドラマで描かれる義仲が視聴者にどう届くかが重要だと思う」と話す。

デビューして約20年。俳優として地歩を固めながら、日本酒の利き酒師の資格を持つなど多趣味でもある。「やりたいことをやるには体力をつけておかなくては」といい、「高校時代、けがで柔道部をやめたため白帯で終わってしまった。黒帯を取りたいですね」。

“ちゃんと生きる”のがルール

1980年3月14日生まれ。大阪府出身。映画「るろうに剣心」シリーズなど多数出演。

2022年(令和4年)3月27日(日)

毎 日 新 聞